

# 秋の味「なわた汁」

農学部支部 鈴木 雄二さん

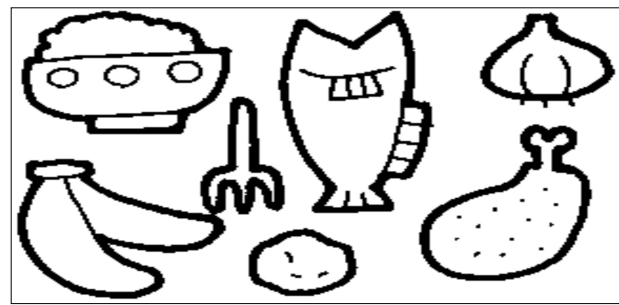
晩秋になると無性に「なわた汁」が食べたくなります。なわた汁とは、私の出身地、新潟県北部の村上地方の郷土食で、鮭のはらわた（胃、腸、心臓、肝臓、白子など、あればはらこも）とネギ、豆腐などで作った醤油味が味噌味の汁物です。見た目は決していいとは言えませんが、内臓の部位それぞれのうまみが寒中に体にしみわたります。

冬に帰省しても店頭でなわたを見かけることが少なくなり、色々なものが小奇麗に、簡単な汁なんて対極だなわた汁なんて、食したければ材料調達から自分でするという覚悟はまだ決めかねています。

昔より村上の人は市内を流れる三面（みおもて）川に遡上して、

鮭を貴重な食糧源として、

きまして、近年では晩秋から初



宮城初の「日本のうたごえ祭典」で、憲法学者の樋口陽一実行委員長の挨拶、きたがわてつさん等の「日本国憲法前文」を受けて第3部は、若者や労働者、地域サークル等々どどん歌い手が増えてエンディングのすずめ踊りまで昂揚し続ける「連帯のステージ」でした。私は若い仲間と2人で第3部の司会を務めました。楽しく大きな経験となりました。（編 O）

11月22日～24日 日本のうたごえ祭典 in みやぎ  
 『被災地の復興を希（ねが）って今伝えたいことそして「感謝と連帯」』

2015年国際女性デー第55回宮城県集会  
 講演「平和をめざすメディアの役割」  
 ・母として、ジャーナリストとして・・・  
 ドキュメンタリー映画監督・海南友子氏  
 会場・TKPガーデンシティ仙台勾当台・ホール3

新年号作成中は、本部執行委員会の会議中に片隅でおじやましたこともありましたが無事発行にこぎつけました。ひたひたと押し寄せる大学改革の波を押し返し、平和あってこそ今の生活、憲法9条を守り、民主主義の日本を守ることが大事といった内容が各紙面に読み取れます。今年も多彩な記事を載せていきます。（編 N）

## 編集後記

- \*1/28(水) 平和・友好・国際連帯「新春のつどい」 (東北大生協レストラン萩)
- \*1/31(土) 宮城はたらく女性のつどい (宮城野区中央市民センター)
- \*3/14-15(日) 2015年度東北地区職種別懇談会 (岩手)
- \*2/11(水・祝) 2.11信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会「正義と平和が抱き合う時一いがいみ合いの向こう側を目指して」 (仙台市民会館)

## これからの日程